

成人急性期看護学演習

ナンバリング:N3-S1-E05

責任者・コーディネーター	共通基盤看護学講座 武田 邦子 講師		
担当講座・学科(分野)	共通基盤看護学講座		
対象学年	3	区分/単位数	演習/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

成人期にある者およびその者の家族等を対象とした急性期から慢性期を通じた看護に関して、特に、急性期に焦点をあてた実際の方法を演習を通して学ぶ。具体的には、成人急性期看護方法論で取り組んだ事例をシミュレーターや模擬患者を活用して再現し、成人急性期看護方法論で学んだアセスメントや看護ケアを演習を通して実践する。その際、事例への看護ケアは、臨床現場を意識し、臨床判断、問題解決および優先順位をつけるなど、時間管理の能力を身に付ける。

・教育成果(アウトカム)

クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な知識・技術を、シミュレーション・シナリオでの実践を通して体得できるようになる。PBLやTBL等のグループ実践を通して、クリティカルケア及び周手術期にある者へ質の高い看護を提供するために必要なコミュニケーションスキルに関する知識・技術を体得できるようになる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

1	医療人としての全人的人間性をもち、豊かな教養を身につけ、常に自分を振り返る、謙虚な態度を持つ。
2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。
5	患者との関係性のアセスメントを行い、看護を受ける人が自ら持つ力を高められるような援助理論と方法を身につける。
6	災害等の危機的状況においてもできるかぎり平常時と同様のケアを提供できるような構想力を身につける。
7	保健医療福祉システムの中で、多職種連携を図り、看護の機能と看護職者の役割を理解し、調整機能を果たすための基礎的能力を身につける。

・到達目標(SBO)

- 成人急性期看護方法論をふまえ、クリティカルケア及び周手術期の看護を実践するにあたって必要な、生物学・解剖学・生理学・病理学・薬理学・社会学及び発達段階に関する知識から得た知見を、患者の潜在的・顕在的な健康問題への看護としてシミュレーションシナリオの中で実演できる。
- 成人期のクリティカル及び周手術期にある者について、アセスメントした内容を踏まえ、その時の臨床判断・問題解決の内容、優先順位を考え、決定した根拠について述べるができる。
- 成人期のクリティカル及び周手術期にある患者の特徴について、アセスメントした内容を踏まえ、援助を実践できる。

・授業日程

【演習】

会場： マルチ4-A講義室、マルチ2-A実習室、マルチ2-B実習室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/4 金 2限	【授業内容】 演習のガイダンス 救急・集中治療時の看護技術(人工呼吸・胸骨圧迫) ・一次救命処置(BLS)における人工呼吸・胸骨圧迫の方法を理解し実践できる 【関連するSBO】 3 【事前学修:160分】 成人急性期看護方法論で学習した急変時の看護について復習し要点をまとめる 【事後学修:60分】 成人看護技術の一次救命処置(BLS)の動画、手順をテキストで確認し要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師
4/4 金 3限	【授業内容】 救急・集中治療時の看護技術(BLS/トレーニング) ・一次救命処置(BLS)の方法を理解し実践できる 【関連するSBO】 3 【事前学修:160分】 成人急性期看護方法論で学習した急変時の看護について復習し要点をまとめる 【事後学修:60分】 一次救命処置(BLS)の実践を振り返り、要点をまとめる	共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師

4/8 火 3限	<p>【授業内容】救急・集中治療時の看護技術(BLS/病棟シミュレーション)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一次救命処置(BLS)のシミュレーションを通して患者の急変に対応し実践できる ・急変時に実践した内容を報告できる <p>【関連するSBO】1、2、3</p> <p>【事前学修:160分】4/4の講義内での動画、手順をテキストで確認し注意点をまとめる</p> <p>【事後学修:60分】病棟における急変の対応の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
4/8 火 4限	<p>【授業内容】術前の看護技術(呼吸訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術後合併症予防につながる呼吸訓練を実施できる <p>【関連するSBO】1、2、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した周手術期にある患者の術前看護についてまとめる:提出①</p> <p>【事後学修:60分】呼吸訓練の術前指導の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
4/16 水 3限	<p>【授業内容】術後の看護技術(離床訓練)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術後における疼痛のアセスメントを行い、離床訓練ができる ・ドレーン管理中の注意点を理解した上で離床訓練を実践できる <p>【関連するSBO】2、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した術後合併症及び予防についてまとめる:提出②</p> <p>【事後学修:60分】術後の早期離床の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
4/16 水 4限	<p>【授業内容】救急外来・ICUにおける看護技術(輸血)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・輸血管理の方法及び注意点を理解した上で輸血の準備ができる ・輸血療法を理解した上で輸血開始時、輸血中、輸血後の観察が実践できる <p>【関連するSBO】2、3</p> <p>【事前学修:160分】基礎看護技術で学修していた内容をもとに輸血療法についてまとめる:提出③</p> <p>【事後学修:60分】輸血管理の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
5/14 水 3限	<p>【授業内容】術後の看護技術(術後アセスメント:問題基盤型学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術後における呼吸器管理の必要性を理解できる ・術後の呼吸器管理中の観察及びアセスメントを行い、報告ができる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した呼吸機能の回復を目指す患者のアセスメントについてまとめる:提出④</p> <p>【事後学修:60分】術後の呼吸器管理の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
5/14 水 4限	<p>【授業内容】術後の看護技術(心電図モニタリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12誘導心電図の測定を実践できる ・術中・術後における急変時の心電図モニタリングの必要性を理解できる ・12誘導心電図の測定結果を報告できる <p>【関連するSBO】2、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した循環機能の回復を目指す患者の看護についてまとめる:提出⑤</p> <p>【事後学修:60分】術後の心電図モニタリングの実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
5/21 水 3限	<p>【授業内容】術後の看護技術(術後アセスメント:問題基盤型学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・術後における呼吸器管理の必要性を理解できる ・術後の呼吸器管理中の観察及びアセスメントを行い、報告ができる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した呼吸機能の回復を目指す患者のアセスメントについてまとめる:提出④</p> <p>【事後学修:60分】術後の呼吸器管理の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
5/21 水 4限	<p>【授業内容】術後の看護技術(心電図モニタリング)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12誘導心電図の測定を実践できる ・術中・術後における急変時の心電図モニタリングの必要性を理解できる ・12誘導心電図の測定結果を報告できる <p>【関連するSBO】2、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した循環機能の回復を目指す患者の看護についてまとめる:提出⑤</p> <p>【事後学修:60分】術後の心電図モニタリングの実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>
5/28 水 3限	<p>【授業内容】術後の看護技術(退院指導:チーム基盤型学習)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手術前の生活背景を捉えた上で社会復帰に向けた退院指導を実践できる <p>【関連するSBO】1、3</p> <p>【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した運動機能の回復を目指す患者の看護についてまとめる:提出⑥</p> <p>【事後学修:60分】術後の退院指導の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座</p> <p>佐藤 奈美枝 准教授</p> <p>伊藤 奈央 准教授</p> <p>小坂 未来 講師</p> <p>武田 邦子 講師</p>

5/28 水 4限	<p>【授業内容】術後の看護技術(ストーマケア) ・患者の心理面に配慮しながらストーマケアを実践できる 【関連するSBO】2、3 【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した排泄機能の回復を目指す患者の看護についてまとめる:提出⑦ 【事後学修:60分】ストーマケアの実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師</p>
6/4 水 1限	<p>【授業内容】術後の看護技術(術後清拭) ・術後におけるドレーン挿入中の患者の状態観察を行いながら、清潔の援助を実践できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した周手術期にある患者の術後看護に関する看護についてまとめる 【事後学修:60分】術後の清潔援助の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
6/4 水 2限	<p>【授業内容】術後の看護技術(術後清拭) ・術後におけるドレーン挿入中の患者の状態観察を行いながら、清潔の援助を実践できる 【関連するSBO】1、2 【事前学修:160分】成人急性期看護方法論で学習した周手術期にあるドレーン挿入中の患者の清拭の手順をまとめる:提出⑧ 【事後学修:60分】術後の援助実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>
6/4 水 3限	<p>【授業内容】救急外来・ICUにおける看護技術(血管確保) ・末梢静脈カテーテル管理における点滴静脈内注射の手順に沿って実践できる 【関連するSBO】3 【事前学修:160分】eナーストレーナーの看護手順:点滴静脈内注射の挿入の動画、手順をテキストで確認し注意点をまとめる 【事後学修:60分】点滴静脈内注射の実践を振り返り、要点をまとめる</p>	<p>共通基盤看護学講座 佐藤 奈美枝 准教授 伊藤 奈央 准教授 小坂 未来 講師 武田 邦子 講師 畑中 るり子 助教</p>

・教科書・参考書等

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	看護学テキストNICE成人看護学 成人看護技術 改訂第3版	野崎真奈美	南江堂	2022
参	根拠と事故防止からみた基礎・臨床看護技術 第3版	任和子	医学書院	2021
参	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護 I 概論・周手術期看護 改訂第4版	林直子, 佐藤まゆみ	南江堂	2023
参	看護学テキストNICE 成人看護学 急性期看護 II クリティカルケア 第4版	佐藤まゆみ, 林直子	南江堂	2023

・成績評価方法

<p>【総括的評価】定期試験(多肢選択)80%、事前課題10%(事前学修の提出①～⑧)、演習時の取り組み姿勢(忘れ物なども含む)10%の合計100%にて評価する。 【形式的評価】事前課題からの小テストの実施で学習成果を確認する。</p>
--

・特記事項・その他

<p>【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フィードバックの方法として、事前課題に対する質問や疑問についてはWebClassに解説を掲載する。 ・授業後のアンケートフォーム(GoogleForm)を活用することで、講義に対する質問や疑問についてWebClassに解説を掲載する。または、次回の授業前にフィードバックをする。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講義1週間前にWebClassで出題される次回の講義内容を事前に確認し予習して講義に臨むこと。その範囲からの小テストを授業の始めに行う。 ・講義内容のプリントに記載された関連項目を(テキスト、e-ナーストレーナー等)を視聴し、演習に臨むこと。 ・各グループで役割を交替しながらシミュレーションと振り返りを行う。 <p>【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】</p> <p>看護師(別表3):専門分野 成人看護学</p> <p>【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】</p> <p>当該科目に関連する実務経験の有無 有</p> <p>大学病院等における看護師の実務経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を、事例を交えて行う。</p>

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	書画カメラ	1	講義用資料投影
演習	心電図モニター	2	シミュレーターを活用した技術修得
演習	万能型看護実習モデル“八重”(MW25)	8	シミュレーターを活用した技術修得
演習	フィジコ	4	シミュレーターを活用した技術修得
演習	レサシアン	12	シミュレーターを活用した技術修得
演習	AED	12	シミュレーターを活用した技術修得